

## 心に響いた歌声

11月6日（金）に、合唱祭が行われました。今年はコロナウイルスの影響で、3学年が体育館に集い各学年の合唱を聞く形では行うことができませんでした。当日までの練習も、感染予防のためいろいろな場所に分かれてのパート練習が主流でしたので、全員そろって合唱をする機会が少なかったことでしょう。やれる範囲でやれることをやるしかない。担任の先生方にはこんなお願いをしていました。それでも運動場や、あちこちから聞こえてくる歌声は、大中学生の合唱祭にかける意気込みを感じることができました。当日も観客が少なかった分、緊張度合いも少なく実力がしっかり発揮できたのではないのでしょうか。マスク越しの合唱で思うように声が出ないのではないかと感じていましたが、実際にはマスクの影響などほとんど感じないくらい、皆さんの熱のこもった合唱は私たちに魅了してくれました。毎年この合唱祭週間から当日にかけての期間は、大中学生の歌声を聞いて素敵な日々を過ごしていました。今年は、いろいろな制約がある中でしたが、例年と変わらない素敵な日々を与えてくださった生徒の皆さんやご指導くださった先生方に感謝します。

## 1年生の部

1年生の部が始まりました。今年の1年生の歌声はどんな感じかなと楽しみにしていました。始まってみると、あれっ、なかなかうまいぞと感じていました。どんどん各クラスの合唱が進んで行くと、やっぱりこれは今年の1年生はレベルが高いぞと確信しました。審査の結果は優秀賞に1年4組「あした笑顔になあれ」と1年2組「この歌を」が選ばれ、最優秀賞には1年1組「COSMOS」が選ばれました。



＜1年生合唱祭の様子＞

## 2年生の部

レベルの高かった1年生の部を見終わった後、2年生の部が始まりました。昨年はまだまだといった感じでしたが、今年はどれほど進歩しているかとても楽しみでした。2年3組「あなたへ」で始まった2年生の合唱祭、聞いていくうちに1年間の成長というものすごいなあと感じました。1年生もうまいと思いましたが、2年生はやはり声が違う。美しい発声をしようとしているし、やみくもに声を出すのではなく男女の声のバランスも考えて合唱をしていました。さすが2年生。

素人が聞いても1年生とは格段の違いがあることが分かりました。結果は優秀賞を2年4組「キミのもとへ…」と6組「越えてゆけ」が受賞し、最優秀賞は2年8組「ほらね、」が受賞しました。

閉会式で話しましたが、君たち2年生にはとても期待しています。大府中学校の新しい形を作り上げるのは君たちです。後輩や先生たちとともに素晴らしい学校を創っていきましょう。



＜2年生合唱祭の様子＞

### 3年生の部

いよいよ3年生の部です。練習期間中から3年生の歌声には随分楽しませていただきました。特に女声パートの歌声がとてもよく聞こえてきてそのうまさに感心していました。男声パートや全員での合唱は、当日初めて聞く形になりました。3年7組の合唱「虹」からスタートしました。男声、女声の声やハーモニーの美しさ。強弱などの表現。どれをとってもやはり3年生は違いました。審査をしても甲乙つけがたく、どのクラスも聞きごたえがありました。合唱の後に桃山組が龍神太鼓を披露してくれました。和太鼓の腹の底に響く音色が素敵でした。さて、合唱の結果は、優秀賞を3年3組「信じる」と1組「そのひとがうたうとき」が受賞。最優秀賞はアカペラの3年4組「あんたがたどこさ」が受賞しました。



＜3年生合唱祭の様子＞

☆ホームページでも学校の様子をお知らせしています。ぜひご覧ください。 <http://www.obu-c.ed.jp/obu-j/>